

令和7年度「日本絹の里大学」受講生募集

今年も「日本絹の里大学」を開校します。
絹や蚕に関わる様々な分野の専門家が解説いたします。
一緒に勉強しませんか！



《令和7年度カリキュラム》 (裏面をご覧ください)

期 日	講 師 紹 介
9/13(土)	① 中之条町教育委員会生涯学習課 主事 堀口 真太郎 ② 群馬県立女子大学 教授 新井 小枝子
9/27(土)	③ 一般社団法人 富岡シルク推進機構 専務理事 長谷川 直純 ④ 泉織物有限会社 代表取締役 泉 太郎
10/11(土)	⑤ 群馬県農政部蚕糸特産課 技師 滝沢 俊介 ⑥ 一般財団法人 大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所長 門野 敬子
10/25(土)	⑦ 江戸小紋 よし菊 菊池 宏美 ⑧ 富岡市経済産業部農林課 課長補佐 山崎 知恵子

- ◆会 場 日本絹の里 2階会議室
- ◆開講時間 13:30~15:50 (講義内容により時間が多少変わることがあります)
- ◆受講料 (教材費含む) 3,000円 (開校式当日に徴収いたします)
 - ・講義開催日は、特別展等の観覧料が受講生は無料になります。
 - ・受講年度の「日本絹の里紀要」を1冊差し上げます。
- ◆修了証書の授与 5講座以上出席された方には、日本絹の里館長から修了証書を授与いたします。
- ◆募集人数 50名 (応募者多数の場合は抽選とさせていただきます)
- ◆対 象 原則として全講座への参加をお願いします。
- ◆応募方法 往復ハガキの往信裏面に、①氏名(ふりがな)、②住所、③郵便番号、④年齢、⑤電話番号、返信表面に、ご自身の①住所、②氏名を記入のうえ、日本絹の里「日本絹の里大学係」あてにお申し込みください。

※切 令和7年8月27日(水) 必着



日本絹の里
NIPPON SILK CENTER

〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1

TEL 027-360-6300 / FAX 027-360-6301

令和7年度「日本絹の里大学」カリキュラム

開催日	時 間	講 義 題 目	講 師	講 義 内 容
9月13日 (土)	13:30～13:40	開 校 式		
	13:40～14:40	国指定史跡「東谷風穴」の調査及び整備について	中之条町教育委員会生涯学習課 文化財保護係 主事 堀口 真太郎	中之条町では国指定史跡「東谷風穴」の価値を後世に残すため整備事業をしています。東谷風穴の魅力は、コンパクトな史跡のなかで、風穴とは何かが「見える、わかる、感じられる」ことにあります。これまでの調査成果や養蚕関係の文化財について紹介します。
	14:50～15:50	上州弁としての養蚕ことば	群馬県立女子大学 文学部 教授 新井 小枝子	養蚕ことばは、養蚕の方法や技を伝え合うための、専門的で科学的なことばです。養蚕の盛んな群馬県においては、きわめて具体的で実感のある存在です。養蚕王国群馬県における養蚕ことばの実態を観察し、上州弁としてのはたらきを考察します。
9月27日 (土)	13:30～14:30	今後の養蚕を考える	一般社団法人富岡シルク推進機構 専務理事 長谷川 直純	養蚕を取り巻く環境が近年著しく変わっています。ここで言う環境は、需要と気候です。気候では、今年の6月は、1946年の統計開始以降、1位の高温となりました。蚕の飼育に適した温度は、齢によって異なりますが、一般的には24～28℃が目安です。このような環境の変化で、今後の養蚕を考えたいと思います。
	14:40～15:40	織都1300年 織物の町 桐生産地と桐生織・桐生絞り	泉織物有限会社 代表取締役 泉 太郎	桐生産地の簡単な歴史と「桐生織」・「桐生絞り」とは。桐生織は、他の産地と比べ何を織っている産地か分かりづらい産地と言われていました。では桐生織とは何か簡単な歴史や伝統的工芸品である桐生織の解説等を交えお話をさせていただきます。また、当社のものづくり桐生織と桐生絞りについてもお話をさせていただきます。
10月11日 (土)	13:30～14:30	群馬県の養蚕担い手育成対策	群馬県農政部蚕糸特産課 蚕糸特産係 技師 滝沢 俊介	「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録され、蚕糸業へ注目が集まりました。群馬県では、伝統ある蚕糸業を維持させ、将来の世代に引き継ぐことが必要であると考えています。今回は県の取組みの中から、養蚕の担い手育成対策について紹介します。
	14:40～15:40	日本の蚕糸業における蚕糸科学技術研究所の役割	一般財団法人 大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 所長 門野 敬子	蚕糸科学技術研究所では、カイコやシルクに関わる研究の他にも、カイコを飼育して販売用の卵を作る蚕種製造や製糸、養蚕農家対応、新規養蚕就農者研修といった様々な業務を行っています。民間の研究所としてユニークな存在である当研究所について、カイコやシルク、昆虫の話を変えながら紹介します。
10月25日 (土)	13:30～14:30	江戸小紋における型染の可能性	江戸小紋 よし菊 菊池 宏美	武士の袴に端を発する江戸小紋は、遠目に無地にも見える細かさがあります。そこが江戸っ子気質に合ったのか、やがて商人から庶民へと広がり様々な文様が生まれました。今回は「型」と言う、ある意味制約のある江戸小紋の染め表現の面白さをお伝え致します。
	14:40～15:40	富岡市における養蚕業継承のための取組み	富岡市 経済産業部農林課 課長補佐(蚕糸園芸係長) 山崎 知恵子	養蚕業の維持を目指し、富岡市では養蚕農家や新規参入者への支援を行っています。その他にも、地域おこし協力隊の活動や「富岡シルク」のブランド化の推進を通じて、養蚕業の未来を守る取組みについて、実例を変えながら、取組みをお話いたします。
	15:50～16:00	閉 校 式		